A3RT Public APIの使い方 - 概要

・利用までの流れ

- 1. 利用したいプロダクトのAPI Keyを発行する
- 2. 幾つかのエンドポイントで利用可能なことを確認する
- 3. (モデルを作成する場合は、データを用意してモデルを学習させる)
- 4. JavaScriptやPythonなど各種プログラミング言語に組み込んで使用する

・利用上の注意点

- · APIコール数の制限はありませんが、良識の範囲内で利用下さい
 - · 例えば1秒間に1万回みたいな叩き方をされるとBANの対象になります……



API Key

- · APIを利用する際に必要になるユーザごとにユニークな文字列
- 各プロダクトに固有に発行されます
 - 例えばTalk APIとText Classificationの2つを利用したい場合は、2つのAPI Keyをそれぞれ発行する必要があります

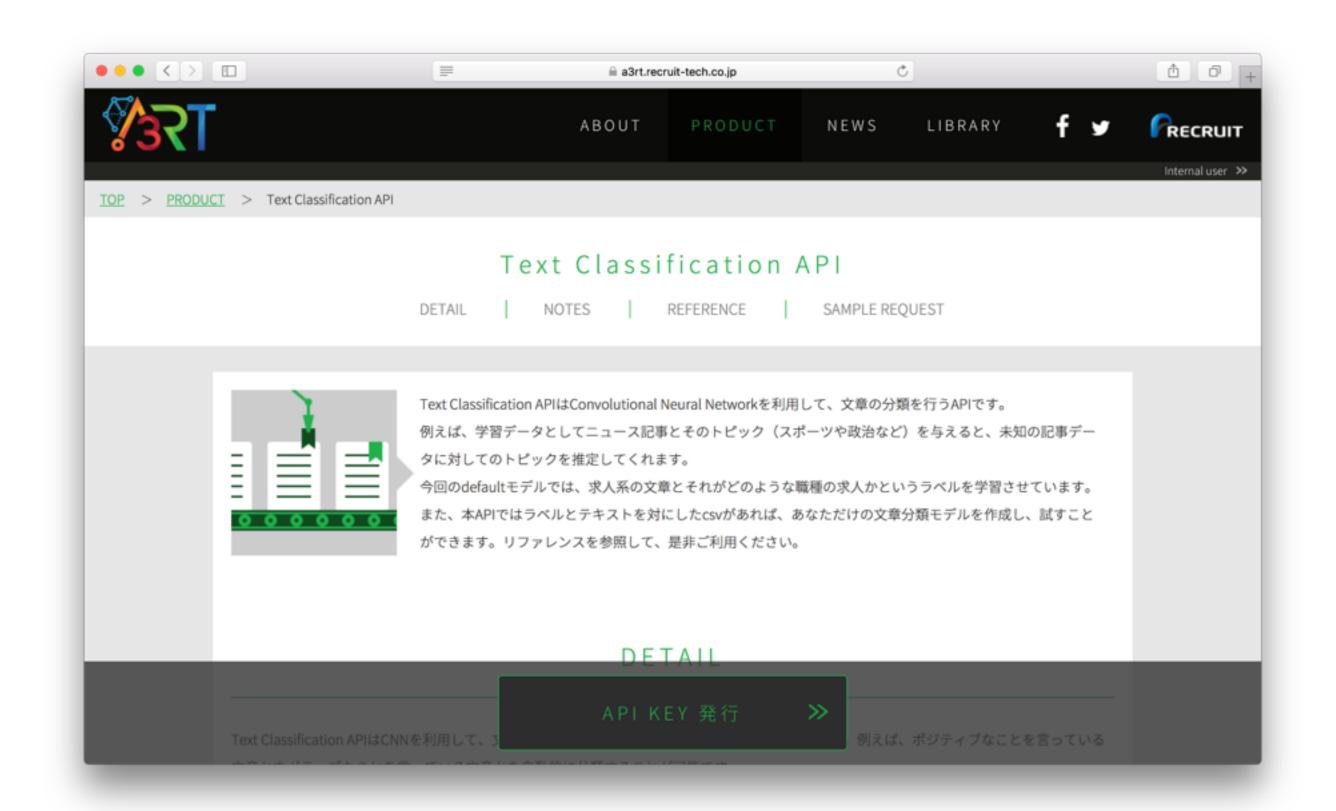
・注意点

- ユーザを特定するものですので、人に教えたり共有して利用しないでください
- ・ もしGitのコミットに入れてしまった等で変更が必要になった際は、新規発行と同じ方法で再発行することができます



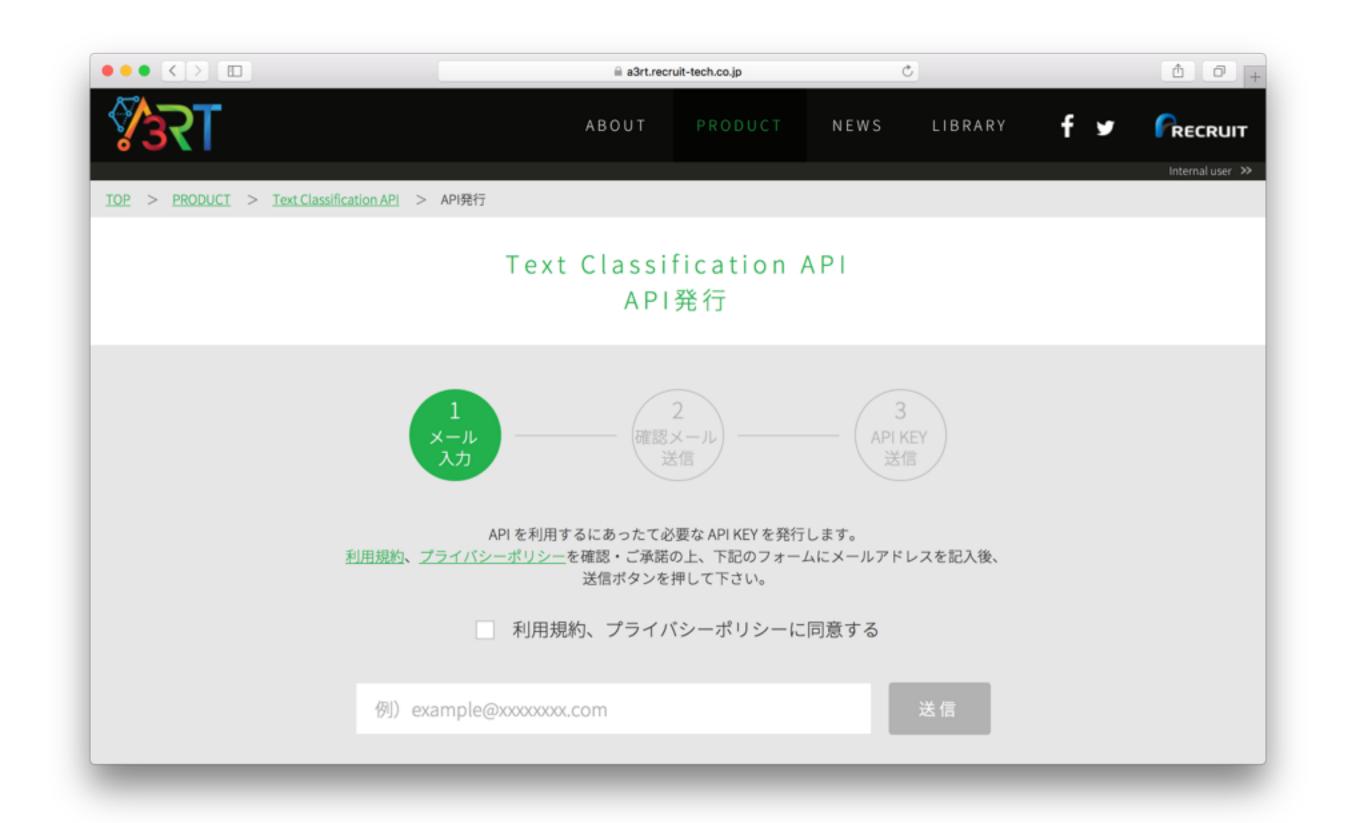
1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示

- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック
- 4.本登録のメールのAPI Keyを確認





- 1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示
- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック
- 4.本登録のメールのAPI Keyを確認



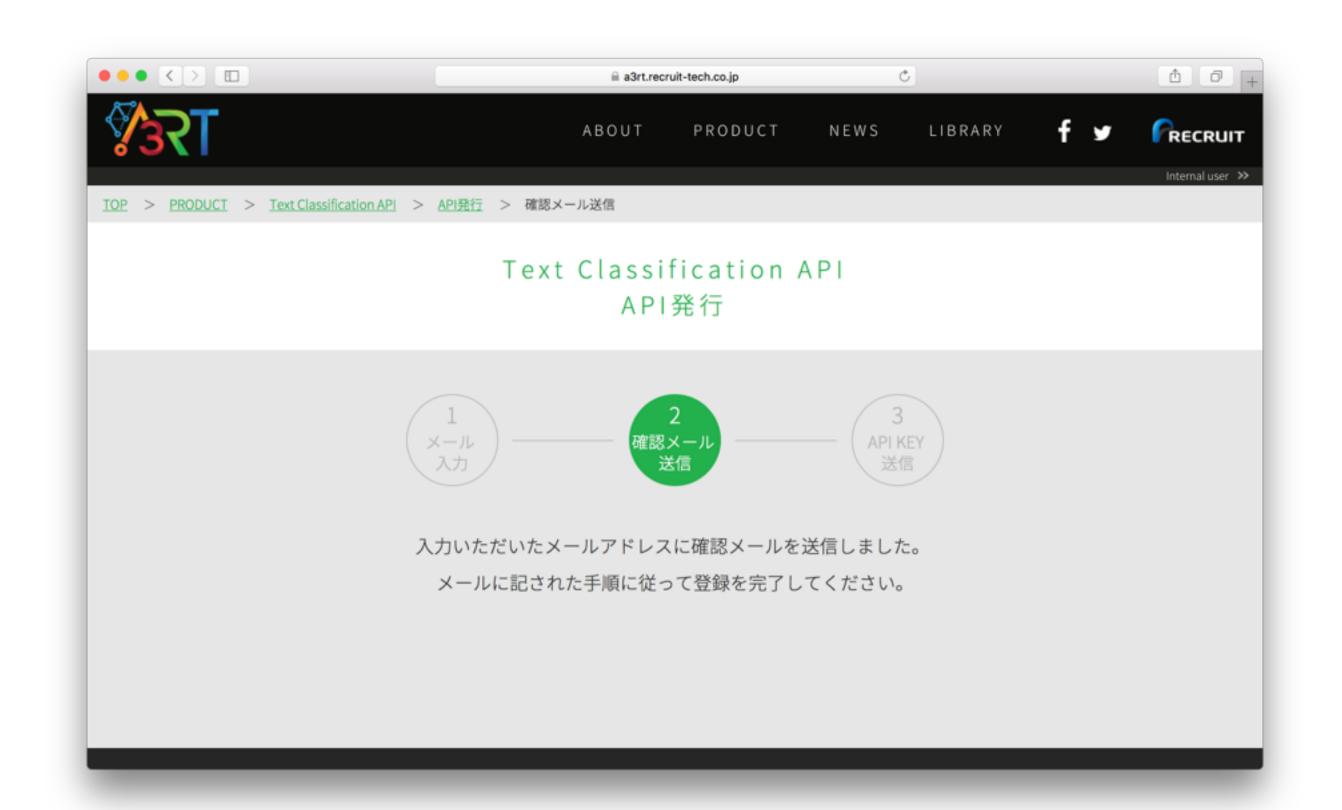


- 1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示
- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック
- 4.本登録のメールのAPI Keyを確認





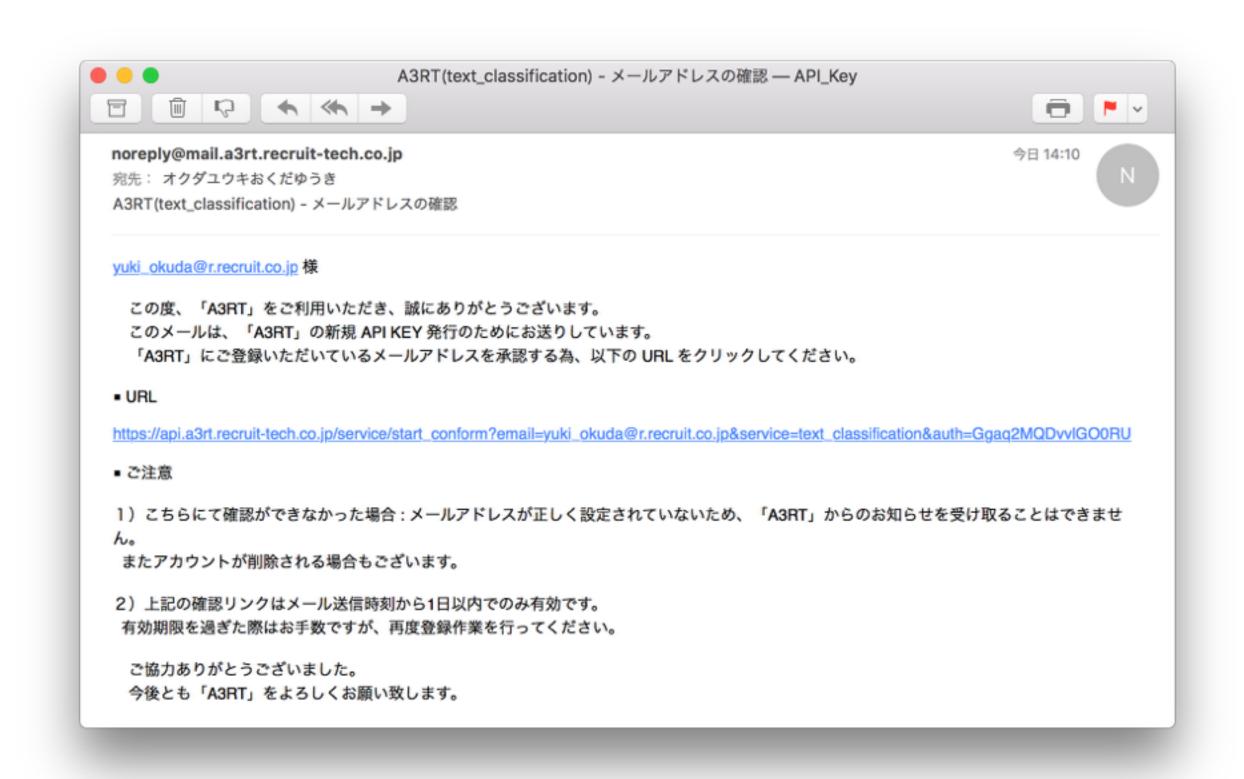
- 1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示
- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック
- 4.本登録のメールのAPI Keyを確認





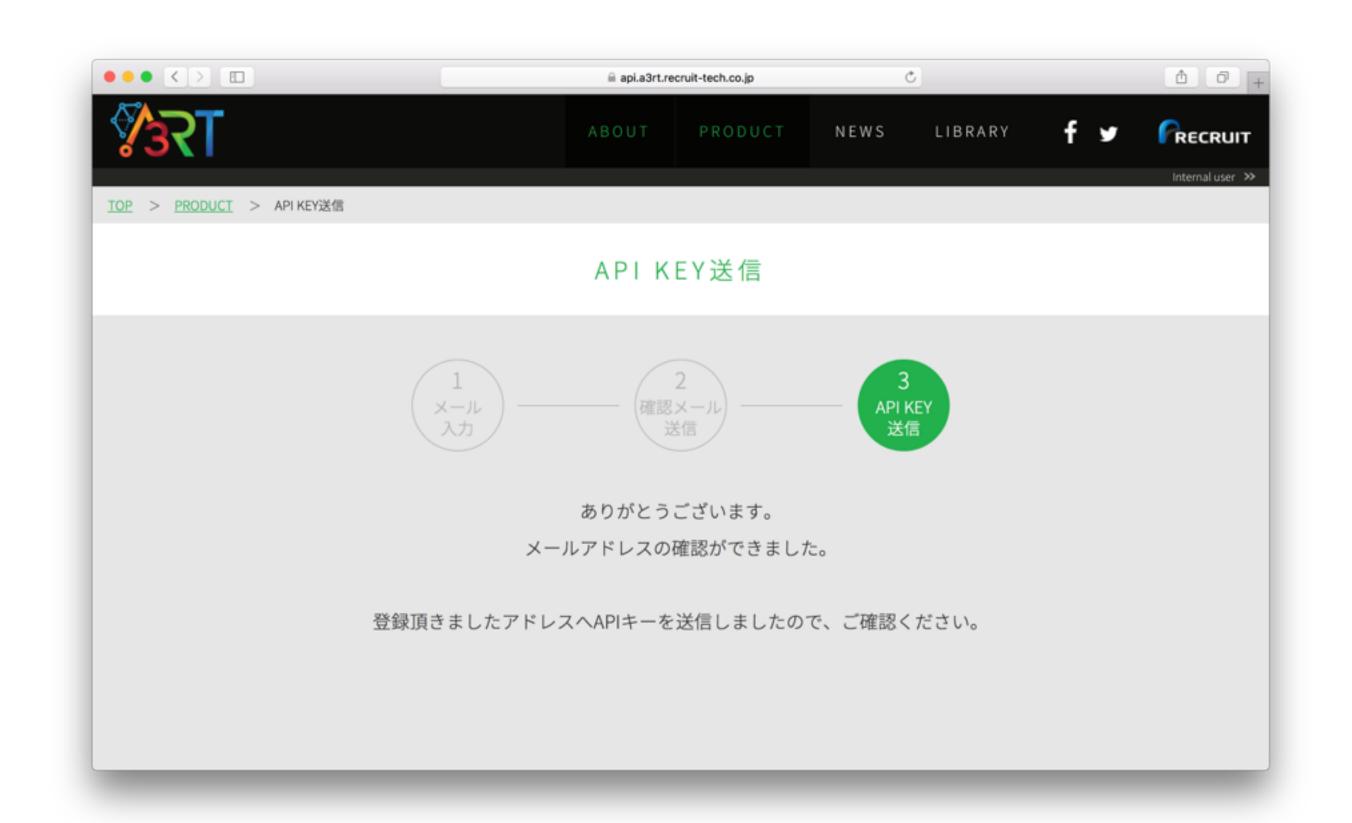
- 1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示
- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック

4.本登録のメールのAPI Keyを確認



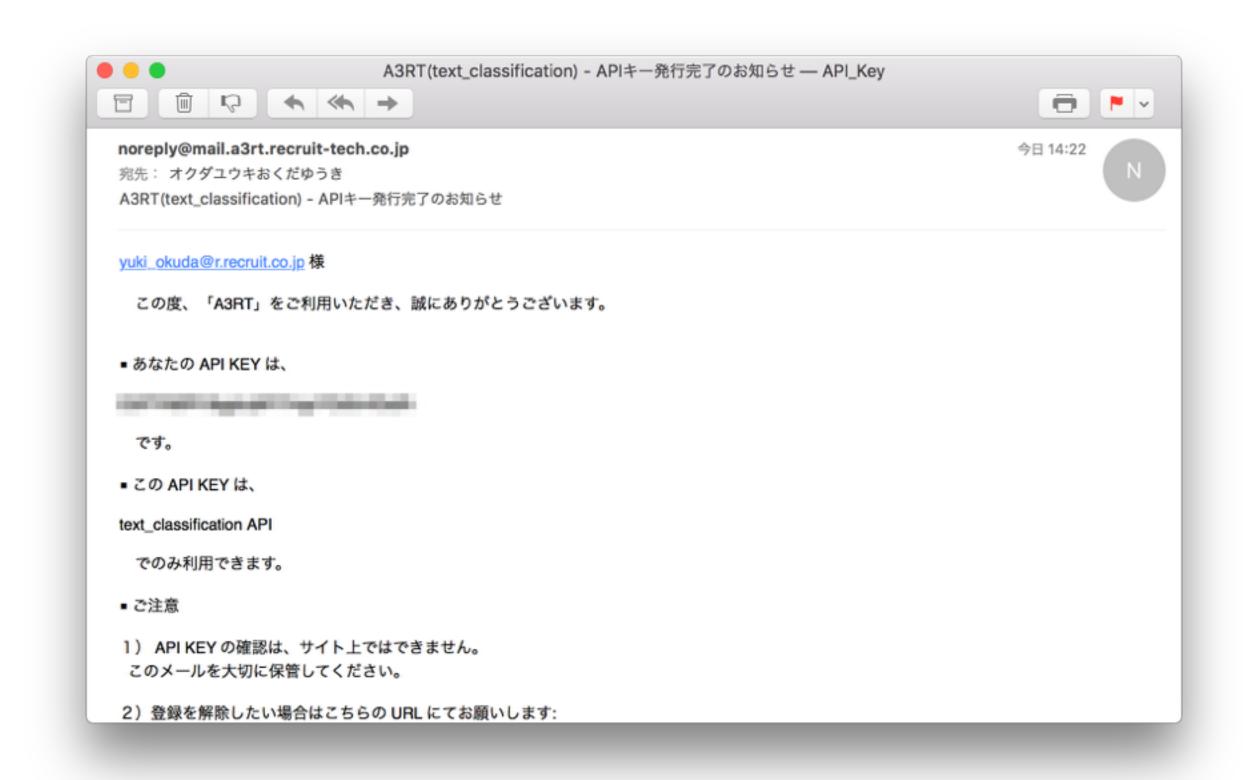


- 1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示
- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック
- 4.本登録のメールのAPI Keyを確認





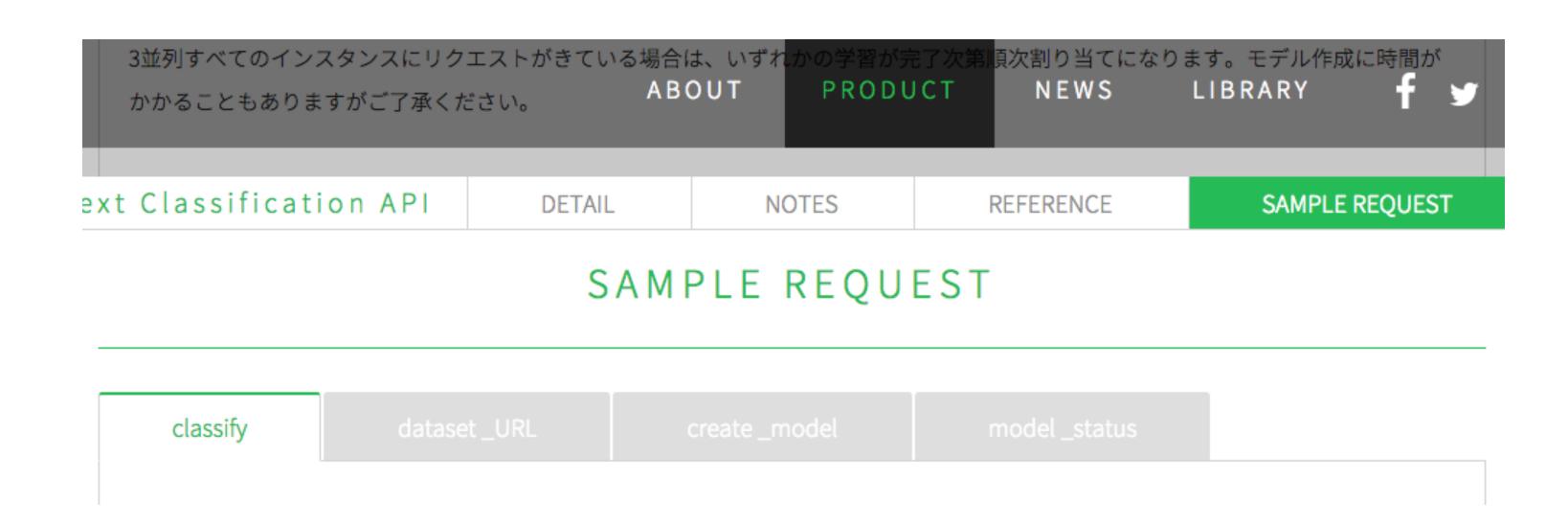
- 1.各プロダクトのAPI Key発行画面を表示
- 2.メールアドレスを登録
- 3.仮登録のメールのURLをクリック
- 4.本登録のメールのAPI Keyを確認





A3RTの使い方 (2) コマンドラインから実行する

- · API Keyが利用できるかコマンドラインから確認
 - ・ まずはcurlやwgetなどでA3RTのAPIを実行します
 - 各プロダクトのリファレンスページ下部に「SAMPLE REQUEST」がありますので、最初はそちらをうごかしてみて下さい





A3RTの使い方 (2) コマンドラインから実行する



A3RTの使い方 (2) コマンドラインから実行する

よくあるレスポンスのエラー内容

```
{"status": 1400, "message": "bad request"}
```

- リクエストに含めるパラメータに不備がある場合
- 各プロダクトのリファレンスを確認し、必須なパラメータを指定しているかを 確認してください

```
{"status": 1001, "message": "apikey not found"}
```

- · API Keyが正しくない場合
- · プロダクトごとに発行したAPI Keyを利用しているか確認してください



- ユーザが用意したファイルをサーバにアップロードする
 - いくつかのAPIはファイルのアップロードおよびモデル作成機能があります
 - · 学習用のデータを準備する必要がありますが、好きなようにカスタマイズして利用することができます

・手順

- 1. 学習用ファイルをアップロードするURLを取得する
- 2. 学習用ファイルをアップロードする
- 3. 学習用ファイルをもとにモデルを学習させる



・学習用ファイルをアップロードするURLを取得する

```
{
    "status": 0,
    "message": "ok",
    "dataset_url": "https://a3rt-classification.s3.amazonaws.com/
becfe49f-7324-4c6c-8437-00618cea2d6b?
AWSAccessKeyId=AKIAIJWYSBX56JFOEFTA&Expires=1497766719&Signature=Rbvd%2BgkPRoZn
%2BIhuZ5yugBNass4%3D",
    "dataset_id": "becfe49f-7324-4c6c-8437-00618cea2d6b"
}
```



・学習用ファイルをアップロードする

```
$ curl -D - -X PUT --upload-file upload_20newsgroup.csv 'https://a3rt-
classification.s3.amazonaws.com/becfe49f-7324-4c6c-8437-00618cea2d6b?
AWSAccessKeyId=AKIAIJWYSBX56JFOEFTA&Expires=1497766719&Signature=Rbvd%2BgkPRoZn
%2BIhuZ5yugBNass4%3D'
```

```
HTTP/1.1 100 Continue

HTTP/1.1 200 OK

x-amz-id-2: Xs2b/nIzW0QZ9RrNUpgcrkgJQ1HU2d4rt60vwWi3Ady9aqud0QpOeXUypHkjk5QEN4m/
5ZubCnE=
x-amz-request-id: B14AF636EB83FE1B
Date: Sun, 18 Jun 2017 06:16:56 GMT
ETag: "8f34418bbc144e9af6cb31b65ebf7bac"
Content-Length: 0
```



Server: AmazonS3

・学習用ファイルをもとにモデルを学習させる

```
$ curl -X POST https://api.a3rt.recruit-tech.co.jp/text_classification/v1/model \
  -d apikey=AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA \
  -d dataset_id=becfe49f-7324-4c6c-8437-00618cea2d6b
```

